

安全・安心ネットワーク活動

※世帯数及び人口は令和 4 年 4 月 1 日現在

東区	小学校区・地区名	江西学区	世帯数	5,240 世帯	人口	11,242 人
----	----------	------	-----	----------	----	----------

■組織の概要

平成 19 年 1 月瀬戸町が岡山市と合併したことから、江西学区安全・安心まちづくり協議会を結成し活動を展開、今日に至っています。平成 24 年 6 月に瀬戸町合併特例区が解散したことにより会則の一部を改正し、名称を安全・安心ネットワークに変更しました。現在、連合町内会はじめ、学校関係・学区内で活躍する各種団体等 31 団体で構成されています。



高校生と一緒に避難所運営ゲーム体験の様子

■活動の取組内容

江西学区防災会では、会員の避難所運営に関する知識の取得を目指すと共に、中高生の防災に関する意識の向上を図ることを目的に、防災キャンプの運営を行うなど、地域の防災活動に力を注いでいます。令和 4 年 11 月は高校生が作成した避難所運営ゲーム (HUG) を行いました。

交通安全活動では、子供たちの登下校を見守り、交通事故撲滅に向けた誓いや保育園児の交通安全パレード「一斉子ども見守り隊」や、「交通安全運動の集い」を行っています。



保育園児の交通安全パレードの様子

また、「学園都市生徒と住民のふれあい祭」や「玉手箱ウォーキング」の開催、令和 4 年 8 月には、小学生だけを対象にした「子どもワクワクチャレンジ教室」を開催するなど健康づくり活動も行っています。



「子どもワクワクチャレンジ教室」の様子

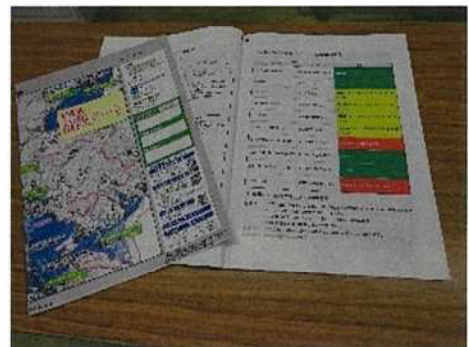
■活動の成果

地域の課題解決に向けた様々な取り組みを行い、子供たちの見守りや地域住民と交流を図ることで、少しずつ住民の意識も変わり、今まで参加していなかった方が参加するなど安全・安心ネットワーク活動の成果が表れていると思います。

■工夫していること

学区には、園、保、小、中、高 (2 校)、支援学校、大学があり、ボランティア活動の参加や防災作文の発表をしてもらい、地域からは毎年小学 1 年生に非常持出袋の贈呈をするなど、学生が参加しやすい環境づくりを心掛けています

また、地域内の防災意識を高める目的で、江西学区独自の「防災ノート」を作成し、全世帯に配布しています。



江西学区防災ノート